

津波対策

一部気象庁ホームページから引用

津波から命を守るためには、

「強い揺れ、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたら」
「揺れが無くても津波警報を見聞きしたら」 **直ちに避難!!**

津波警報・注意報

津波による災害の発生が予想される場合には・・・

地震発生

発生後
約3分で

●大津波警報
●津波警報
●津波注意報
を發表します。

その後

●予想される津波の高さ
●津波の到達予想時刻
等の情報を發表します。

津波に関する情報

津波警報の發表後

沖合や沿岸の観測点で観測した津波の高さや到達時刻を發表します。

- 高い津波が来る前は、津波の高さを「観測中」として發表します。
- 沖合で観測された津波の情報をいち早く伝えます。



「津波の高さ」は津波がない場合の海面からの高さです。津波が陸上で崖などを駆け上った高さは、海上の津波の高さの何倍にも達することがあります。

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	發表される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での發表 (津波の高さの予想区分)	津波の規模 の表現		
大津波警報	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	ハザードマップの津波浸水想定区域内の住民、沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m (5m<予想高さ≤10m)			
	5m (3m<予想高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難してください!	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (20cm≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、直ちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。

※津波警報等の發表時には、各区分の高い方の値を、予想される津波の高さとして發表します。

「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来ると思って、直ちにより高い場所に避難しましょう!



津波予報

地震発生後、津波による災害が起こるおそれがない場合には、以下の内容を津波予報で發表します。(津波が予想されないときは、津波の心配なしの旨を地震情報に含めて發表します。)

發表される場合	内容
0.2m未満の海面変動が予想されたとき	高いところでも0.2m未満の海面変動のため被害の心配はなく、特段の防災対応の必要がない旨を發表します。
津波注意報解除後も海面変動が継続するとき	津波に伴う海面変動が観測されており、今後も継続する可能性が高いため、海に入っている作業や釣り、海水浴などに際しては十分な留意が必要である旨を發表します。

津波からの避難

ハザードマップの津波浸水想定区域内にいる人は
危険を感じたら、市からの避難情報を待たずに避難してください!

地震の揺れを感じたら!

強い地震のとき、
弱くても長時間の
地震のとき

海岸付近にいた場合 直ちに海岸から離れて!

堤防より内陸側へ直ちに移動

正しい情報の 入手

「津波の心配なし」が
確認できない限り避難!

安全な 場所へ

浸水想定区域外の指定
緊急避難場所へ

※上記避難場所へ行くことが
できない場合は、近くの高
い所へ

津波警報・津波注意報
がでたら!

直ちに避難!

避難時の注意事項

海底で地震が起きると、津波が起きることがあります。
この波の高さは水深が浅くなるにつれて増し、湾内に入るとさらに高くなります。

ラジオ、テレビ、
防災行政無線などから
新しい情報を!



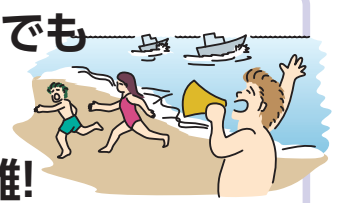
津波注意報でも、
海水浴や
磯釣りは危険!
直ちに避難



津波は繰り返しやってくる。
警報、注意報が
解除されるまで
気をゆるめない!



強い地震、また弱い地震でも
長い時間ゆっくりとした
揺れの場合は、
直ちに安全な場所へ避難!



周囲の状況に応じて慌てずに身の安全を確保し、避難行動をとりましょう。

直ちに高台に避難し、
津波情報を
よく確認しましょう。



※津波は2度、3度とやってきます。
また、1度目より大きな津波が来る
こともありますので、波が引いたから
といって海岸付近に戻ってはいけません。

近くに高台が
ないときは
堅牢な高い建物に
避難しましょう。



自動車の利用は
やめて
なるべく徒歩で
移動しましょう。



津波 てんでんこ

津波被害の多い三陸地方の教訓。

津波が起きたら、家族と一緒にいなくても気にせず、てんでばらばらに高台に逃げ、まずは自分の命を守ること。
※各々が最適な行動をとるためには、日頃から家庭や地域でよく話し合い、訓練することが重要です。

津波予報区

気象庁が、全国を66区域に分けた津波予報区に対して、津波警報・注意報、津波情報、津波予報を発表します。

袖ヶ浦市は東京湾内湾の予報区に該当します。

東京湾内湾

千葉県(富津岬西端以北の東京湾沿岸に限る。)、
東京都(特別区に限る。)、神奈川県(観音崎東端以北の東京湾沿岸に限る。)